広報 ひの
第1079号
■毎月1日・15日発行■発行/日野市■編集/企画部市長公室
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 TEL.042-585-1111(代)
平成16年 2004 1/15

R100
古紙配合率100%
白色度70%の
再生紙を使用しています。

紙面から

ひのっ子安全パトロールを開始……2
子宮がん検診……3
日野市勤労者福祉サービスセンターに加入を……4・5
ひの新選組まつり パレード隊士募集……8
八ヶ岳高原大成荘・乗鞍高原日野山荘利用案内……8

夢が丘小校舎改修工事が完了

新学期からスタート！

夢が丘小学校は、旧程久保小と旧高幡台小の統廃合により平成14年4月に誕生した市内で一番新しい小学校です。

これまで旧高幡台小を仮校舎として使用し、この間に旧程久保小を新校舎として使用するため、耐震補強工事と校舎・体育館・校庭の全面的な改修工事を平成14年度、15年度の2年間をかけて実施してきました。工事は昨年末に完成し、3学期から新しくなった校舎で授業を行っています。（教育庶務課）

夢が丘小の特徴

木材を多用した校舎内

床、壁・カウンター、掲示板枠のほか、背面ロッカーや掃除道具入れなど新設家具にも木材を多用。木目を生かすよう自然健康塗料等で仕上げています。木材を多く使用することで、温かみのある落ち着いた空間となり、児童への情操的な効果も期待されます。

環境に優しい材料を厳選

近年社会問題化しているシックスクール症候群の対策として、合板類、塗料、接着剤など使用材料の選定にあたり、化学物質の含有量が極めて少ない材料を使用しました。

安らぎの環境に配慮

多目的スペースの確保

2階部分に「多目的夢ホール」と名づけた、広いスペースを確保しました。教室と廊下の壁をとりはらい、総合的な学習や児童の集会、雨の日の遊び場など多目的に使用できるシンボル的なスペースです。

体育館天井照明を昇降式に

体育館の天井照明を、電球の交換がしやすい昇降式に換えました。

ゆとりのスペースのあるトイレ

便器には洋式と和式をそれぞれ用意、手洗コーナーにも自動水洗を設置。ランドセルや手荷物を置けるスペースもあります。床もドライ清掃方式を採用、入口の段差を解消しバリアフリーにも考慮しました。明るく、衛生的で使いやすい、きれいなトイレとなりました。

音楽室に冷暖房機を設置

今までは笛やハーモニカ、ピアニカなどの楽器を演奏するとき、周囲の教室への気遣いが必要でした。これからは音の心配をせず、のびのびと演奏ができます。

校庭散水設備の設置

校庭の砂ぼこり対策として、校庭散水設備を設置しました。

雨水利用システムの導入

環境への配慮から、校舎屋上に降った雨水を、下水道切り替えに伴い不要となっていた旧浄化槽施設にため、トイレの洗浄水や校庭散水に使用するシステムを導入しました。

旧高幡台小跡施設は新たな教育施設に

夢が丘小学校の本校舎（旧程久保小）への移転に伴い、旧高幡台小跡施設の活用について、市民要望等を踏まえ検討を行ってきました。市では跡施設を市の教育施設として活用を図るため「日野市立教育センター」を設置します。

この施設は、今月に跡施設に移転した「日野市立教職員研究室」の規模の拡大と機能強化を図ったものになります。また、現在、東町にある適応指導教室「わかば教室」を移転のうえ併設します。開設は4月1日の予定です。

また、教育センター内の一部は、中央公民館の分室的事業の実施や、ふるさと博物館収蔵の民俗資料展示の場所としても活用します。なお、中央公民館の分室的活用の部屋は市民の方々のグループでの学習やサークル活動の場としても利用できます。校庭、体育館については引き続き市民団体に開放します。

事業実施の詳細については今後随時広報などでお知らせしていきます。

旧高幡台小は、市民の貴重な財産として、教育研究機関、生涯学習・スポーツの拠点に生まれ変わります。

（企画調整課）